平成十九年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校二年　国語　解答及び配点一覧

「読むこと」の領域における「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、□に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。
また、大問2は、言語事項をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する言語事項の観点を示しています。

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
1 話すこと聞くこと	(1)		①	○ インタビューの予定になかった質問について聞き取っている。 ・熊本（の） ・郷土料理 ・種類（何種類・数・どのくらいあるか・いくつあるか　等も可） 等	1 2 1	○ インタビューの予定になかった質問について正確に聞き取っている。 ・熊本の郷土料理は何種類くらいあるのですか。 等	4	
	(2)		②	○ インタビューの内容の中で心に残ったことを書いている。（インタビューの内容と合っていること） ・心に残ったことは、たくさん出回る季節の食材は、栄養価が高いということです。 等 ○ インタビューの感想を書いている。 ・スーパーなどでも地元の季節の食材に気をつけてみて、おいしくて栄養価の高い季節の食材を食べるように家族と話をしたいと思いました。 等	4 7	○ インタビューの内容の中で心に残ったこととインタビューの感想の両方を、発表するように書いている。 ・郷土料理は、熊本の新鮮な野菜をたくさん使ったバランスの良い食事だというところが印象に残りました。これから私も郷土料理をもっと食べたり、作ってみたりしてみたいと思いました。 等	1 1	1 5
2 言語事項	(1)	①	③			ただよ（う）	1	2 7
		②	④			ふ（く）	1	
		③	⑤			こちょう	1	
		④	⑥			きょり	1	
		⑤	⑦			（お）たが（い）	1	
		⑥	⑧			功績	2	
		⑦	⑨			回覧	2	
		⑧	⑩			処置	2	
		⑨	⑪			掘（る）	2	
		⑩	⑫			収集	2	
	(2)		⑬			ウ	2	
	(3)		⑭			精・清・静（完答）	4	
	(4)		⑮	読み聞かせです。	1	読み聞かせでした。	2	
	(5)	①	⑯			イ	2	
		②	⑰			エ	2	

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
3 読むこと（短歌）	(1)	関 態 意	⑱	○「雄大」「大きい」「広々としている」「さわやか」「美しい」「大自然」等の言葉を使ってまとめようとしている。	2		
	(2)	関 態 意 ①	⑲	○自分が鑑賞文を書こうと思う一首を選び、鑑賞しようとしている。	2		
		②	⑳	○情景を想像してまとめている。 ・**とてもさわやかな情景だと思います。** ○情景について、色の対比の視点から豊かに想像してまとめている。 ・**白い霧と小さな薄紫の朝顔の花が咲く姿の色の対比が美しいと思います。** ○情景について、季節感を入れるという視点から豊かに想像してまとめている。 ・**さわやかな秋の高原の風景が広がっています。** 等	4	○短歌に描かれた情景について色の対比、季節感を入れて想像してまとめている。 （イの解答例） ・**夏の朝、一面にうっすら白く霧が立ち込めています。阿蘇の大観峰によりそうように小さな薄紫の朝顔の花が咲く姿が対比されて美しいと思います。** （ウの解答例） ・**さわやかな秋の高原で、夕方の晴れわたったオレンジ色の大空に、白くはっきりと見える阿蘇の姿が美しく対比されています。** （エの解答例） ・**阿蘇の噴煙が高くのぼり、青い空で真っ白な夏の雲に変わっていくように見えています。ゆったりと浮かんでいる雲と、もくもくとのぼっていく噴煙が対比されています。** 等	9
		③	㉑	○自分の感想を書いている。 ・**思わず、ほっとするような感じがします。** ○作者の感動や心情を想像して書いている。 ・**阿蘇のうす霧の中、作者は山荘で咲く朝顔を見つけ、大観峰によりそうようだと感じ、やさしい心になったと思います。** 等	4	○作者の感動や心情を想像したうえで、自分の感想と重ねるなどして、想像豊かにまとめている。 （イの解答例） ・**阿蘇のうす霧の中、作者は山荘で咲く朝顔を見つけ、大観峰によりそうようだと感じ、やさしい心になったと思います。私も思わず、ほっとするような感じがします。** （ウの解答例） ・**秋の高原を登っている作者は、美しい情景を見て、さわやかな感動を覚えたと思います。私がこの高原に行ったとしても、山登りのきつさよりよろこびを感じると思います。** （エの解答例） ・**作者は、噴煙がまるで生きていて、夏雲になるように見えることを発見したのだと思います。私も小さいころ、雲がソフトクリームのように見えて、ずっとながめていたのを思い出しました。** 等	7
						大問の計	20

平成十九年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校二年　国語　解答及び配点一覧

No. 3

大問・領域	中問	小問	連番	配点	
4 読むこと（説明文）	(1)		㉒	1	○ 段落の構成や要点をとらえ、①段落か②段落のいずれか一つを読み取っている。
	(2)	ア	㉓		
		イ	㉔		
	(3)		㉕	6	○ 肥後象がんのよさを、次の例の中からに具体的に二つ以上取り上げている。 ア　江戸時代から続く伝統がある イ　国指定の「伝統的工芸品」 ウ　十数種類にも及ぶ工程を経てやっと完成成する エ　手作り（布目切り）が守られてきた オ　天然の素材（さび出し液）を使う カ　同じ製品は、二つとしてない キ　美術工芸品としての魅力がある ○ 肥後象がんのすばらしさを述べる文章を書いている。 ・熊本が誇る肥後象がんは世界に一つしかない個性的な美術工芸品なのです。　等
				4	
	(4)	関意態	㉖	3	○ 肥後象がんについて調べる方法などを書こうとしている。 ・肥後象がんのお店を訪ね、職人さんにインタビューして製作の苦労を聞く。 ・伝統工芸館に行き、江戸時代の作品と現代の作品の違いを調べる。　等
5 書くこと			㉗	2	○ 二〇〇字程度の文章を書いている。（少なくとも一五〇字以上） ○ 二段落構成で書いている。 ○ 第一段落にこの「種」という書の作品から受け止めた作者の思いについて書いている。 ・この作品は、本当に種から花が咲いているように見える。自分の花を咲かせるためには、今蒔く種が大切なんだという作者の思いが、伝わるように思った。　等 ○ 第二段落に「思いをこめて」字を書くということについて、自分の体験や考えを書いている。 ・手紙を書くときなどは、私は手書きで、友達への思いをこめて書いている。手書きだからこそ相手に伝わる心というものがあると思うので、これからも手書きの字を大切にしていきたい。　等
				5	
				2	○ 二段落構成で、二〇〇字程度（少なくとも一五〇字以上）の文章を書き、第一段落に、この「種」という書の作品から受ける感じや感想を、第二段落に、「思いをこめて」字を書くということについての自分の体験や考えを、それぞれ書いている。 ・この作品は、本当に種から花が咲いているように見える。自分の花を咲かせるためには、今蒔く種が大切なんだという作者の思いが、伝わるように思った。 確かにパソコンなどは便利だが、なつかしい友達に手紙を書くときなどは、私は手書きで、友達への思いをこめて書いている。手書きだからこそ相手に伝わる心というものがあると思うので、これからも手書きの字を大切にしていきたい。　等
		言	㉘	4	○ 文の成分の照応（主語・述語や修飾語・被修飾語の照応）等に注意し、正しく記述している。 ○ 誤字、脱字がなく、正しい表記で書いている。
				2	○ 文の成分の照応（主語・述語や修飾語・被修飾語の照応）等に注意し、正しく記述しているとともに、誤字、脱字がなく、正しい表記で書いている。
				1 8	
				2 0	